

＜第5回 若園地域会議 会議録＞

日時 令和5年9月20日（水） 19:00～20:30
場所 若園交流館 大会議室
出席者 委員 16名
市役所 鈴木副市長、野依企画課長、大光都市計画副課長
事務局 奥村室長、成瀬支所長、吉澤副支所長、松原副主幹、
川合主査、倉地主事
オブザーバー 澤平交流館長、寺田市会議員

1 会長あいさつ＜省略＞

2 副市長あいさつ＜省略＞

3 諮問について

(1) 諮問書の授受

- ・副市長から会長へ諮問書を受け渡し

(2) 諮問内容の説明

- ・「第9次豊田市総合計画」の方向性について
企画政策部 企画課 野依課長
都市計画課 大光副課長 より説明

(3) 副市長との意見交換

- ＜委員＞車と人の共存、特に交通安全に対する視点が無い。愛知県は事故が多い。
- ＜副市長＞今後住まい方として、26の鉄道駅を抱え高齢化が進む状況で「えきちか構想」の中で生かしていきたい。交通安全については、通学路での死亡事故が全国で続き、豊田市でも総合点検により対策を考えている。色々なご意見をいただき計画を立てていきたい。
- ＜委員＞先日市に対して提言を行い、その回答をいただく前に諮問が出されたが、今回の総合計画と提言の回答の関係はどうか。
- ＜副市長＞両方がうまく重なれば良いが、ずれているようであれば答申の中でご意見をいただきたい。
- ＜委員＞今回の諮問に対する答申は、若園地域の事で考えればよいのか、若しくは市全体で考えなければならないのか。
- ＜副市長＞両方あります。地域の事も市全体に係ることも合わせて考えていただければと思います。
- ＜委員＞的を絞って、地域ごとに諮問していただければ、検討しやすかったと思う。
- ＜副市長＞まだ、これから計画を策定していく段階であり、「継承」「深化」「方向性」

等がこれで良いかを議論していただきたい。

<委員> 第9次総合計画は地域会議で方向性を決めていくように聞こえるが、他に企業等から意見を聴取しないのか。

<副市長> 企業や商工会、公募委員等で構成する審議会など広く意見をいただくようにしている。また、中京大学など地元の大学等の学生からも意見をいただくようにしている。

<委員> 支所で手続きができず本庁まで行っている。支所のできる体制を整えていただきたい。この地域は生活圏が豊田市中心部ではなく街中に行く機会がない。

<副市長> 本庁へ行かなくても済むような施策として、デジタル化も検討している。第9次の方向性の中にも示している。

<委員> 2030年まで待てないし、高齢者ではスマホなどでの対応は難しい。支所へ出張窓口を設けるなどしていただきたい。

<副市長> デジタル弱者は出てくると思われる。それも含めて市役所内でデジタル化検討部会を設けて議論している。

<委員> 第8次総合計画では高齢者社会に向けた取組もあったが、第9次総合計画の方向性では「こども」はあるが超高齢者社会でデジタル化に対応できない高齢者も出てくるので「高齢者」も加えてほしい。都市構造イメージでは鉄道駅だけが中心でバスしかない地域が抜けている。

<企画課長> 高齢者を考えていないのではなく、様々な世代のことも取組まないといけないと認識している。また、全ての鉄道駅や拠点バス停を記載すると見づらくなるので代表的な駅だけを記載している。

<委員> 「えきちか居住誘導エリア」で駅周辺に住宅地を設けるとなっているが、豊田市は地価が高くて若者では手が出せず、近隣の市へ転出している。

<都市計画副課長> 豊田市では廉価な住宅団地の開発も進めています。

4 事務連絡

(1) 若園地域会議の予定

- ・ 1月に答申を提出するため12月までに完成するよう協議を進めます。

(2) 第4回若園地域会議会議録について

- ・ 内容の確認

(3) 令和5年地域課題解決事業（防災事業）について

- ・ 進捗状況と今後の予定を説明

★次回開催

第6回定例会の日程: 10月18日(水)午後7時 場所:若園交流館 大会議室